

令和3年度

第2回北広島市商工業振興審議会

令和3年11月9日（火）
経済部商工業振興課

目次

1. 次期計画策定の目的等
2. 商工業を取り巻く現状
3. 事業者アンケート調査
4. 今後のスケジュール

1. 次期計画策定の目的等

①計画策定の背景・目的

北広島市では、平成20年11月に商工業者等の経営基盤の強化を図るとともに、市民生活の向上に取り組むため、商工業の振興に関する基本事項を定めた「商工業振興基本条例」を制定しました。

平成23年度には、地域社会と融合した活気ある商工業を推進するため、平成32年度(令和2年度)を目標年次とする「北広島市商工業振興基本計画(現行計画)」を策定し、商工業の振興に資する施策等に取り組んできました。(昨年度、計画期間を1年延長し、令和3年度までとしました。)

近年、人口減少および少子高齢化の進展や、新型コロナウイルス感染症による商工業者への影響などの課題がある一方で、ボールパークの開業や北広島駅西口再開発を契機と捉え、より一層の商工業の振興を図っていく必要があります。

このたび、現行計画の計画期間が2度目の延長となり、令和4年度をもって満了することになったことから、時勢の変遷等も踏まえながら、北広島市の活気ある商工業の振興に向けて、次期計画を策定します。

②計画期間

令和5年度～令和12年度

③現行計画の進捗状況と次期計画に向けて

目標設定による進捗及び達成度の可視化

- ・ 現行計画の進捗は、平成28年度の間見直し後、毎年、審議会にて報告・評価しており、概ね計画どおり実行されています。
- ・ 一方、事業評価の基準が設定されていません。

スリム化による実効性向上

- ・ 関連事業の分野が幅広く、個別具体的な検証ができる範囲に限られます。
- ・ 他の個別計画に位置づく事業や商工業振興以外が主目的となっている事業は、検証・改善などについて、商工業振興の視点を最優先にはできません。

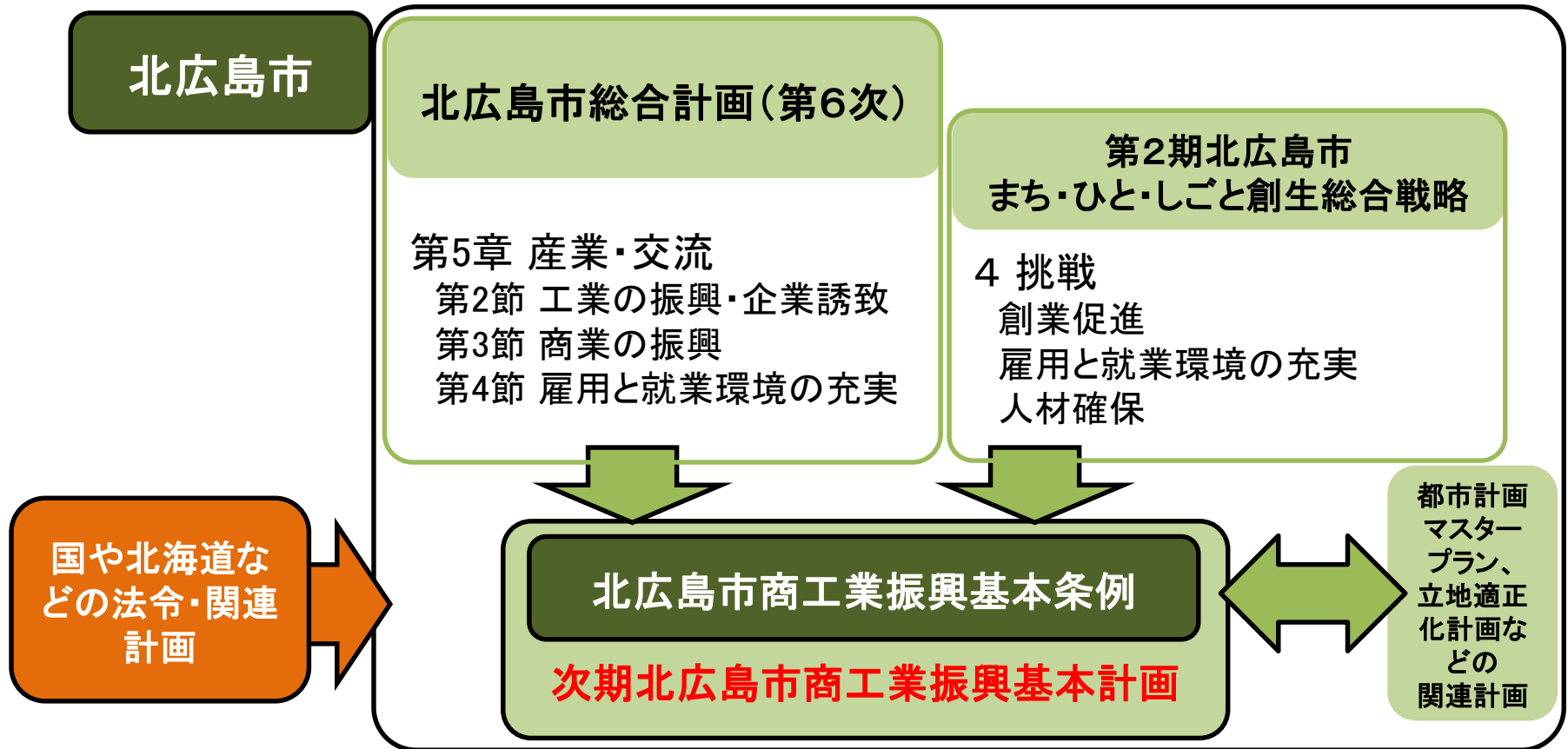
新たな課題など、現状とニーズへの対応

- ・ 社会情勢の変化に伴う、新たな課題やニーズを把握し対応を検討します。

1. 次期計画策定の目的等

④計画の位置づけ

本計画は、上位計画である北広島市総合計画（第6次）の基本目標5に掲げる『活気みなぎる産業と交流のまち』～力強い産業活動が展開され、働く人々が充実し、多くの人々が笑顔で交流し合うまち～」、第2期北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標4に掲げる『挑戦』～創業と雇用を促進し、安心して働けるまちをつくる～』の一部を担い、商工業振興に係る関連計画等との整合を図ります。

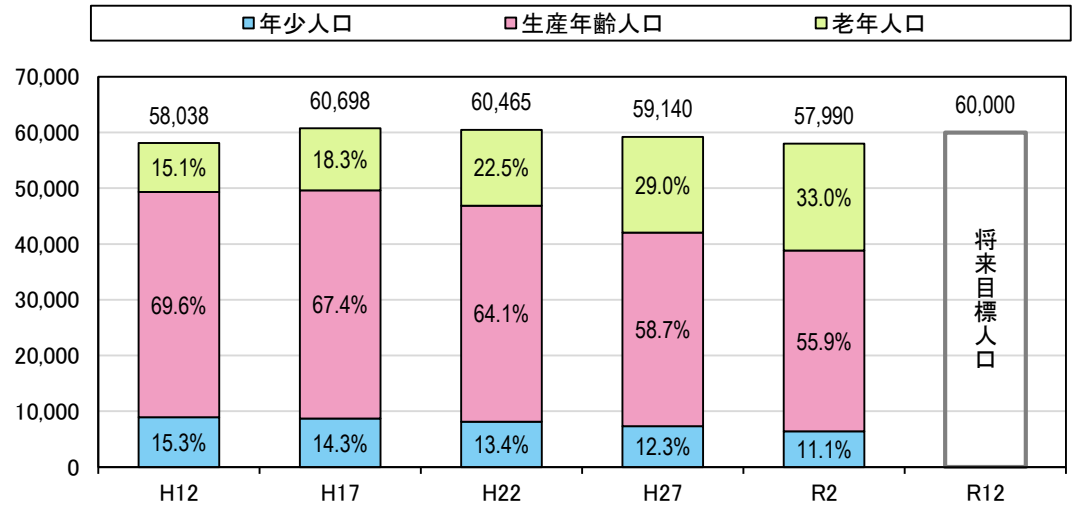


2. 商工業を取り巻く現状

①人口

人口は、平成25年に60,000人を下回るなど減少傾向となっており、令和2年時点で、57,990人となっています。

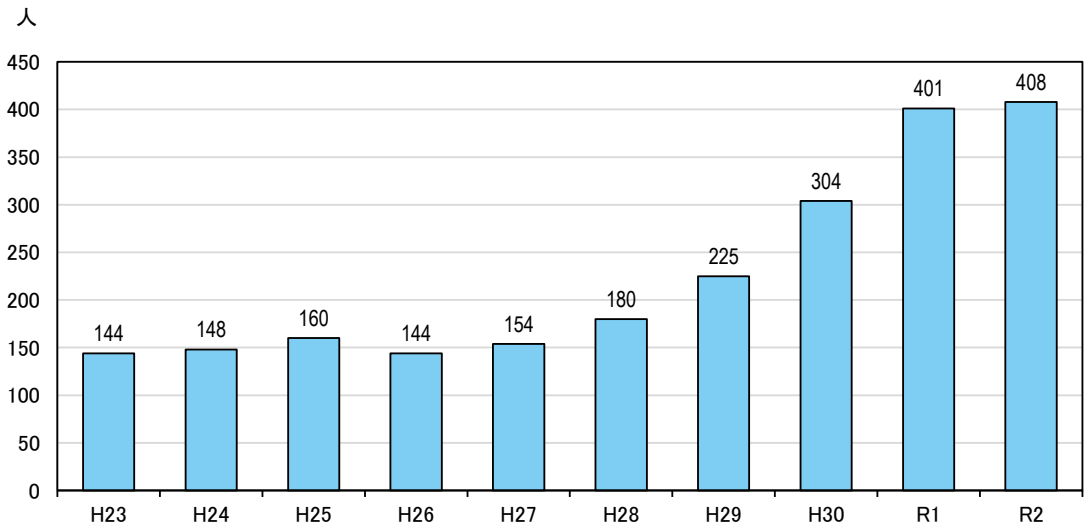
また、老年人口（65歳以上）が増加し、年少人口（15歳未満）および生産年齢人口（15歳～64歳以下）の割合が減少していることから、少子高齢化が進行しています。



資料：【人口】住民基本台帳（各年度末）
【年齢3区分別人口】国勢調査

②外国人人口

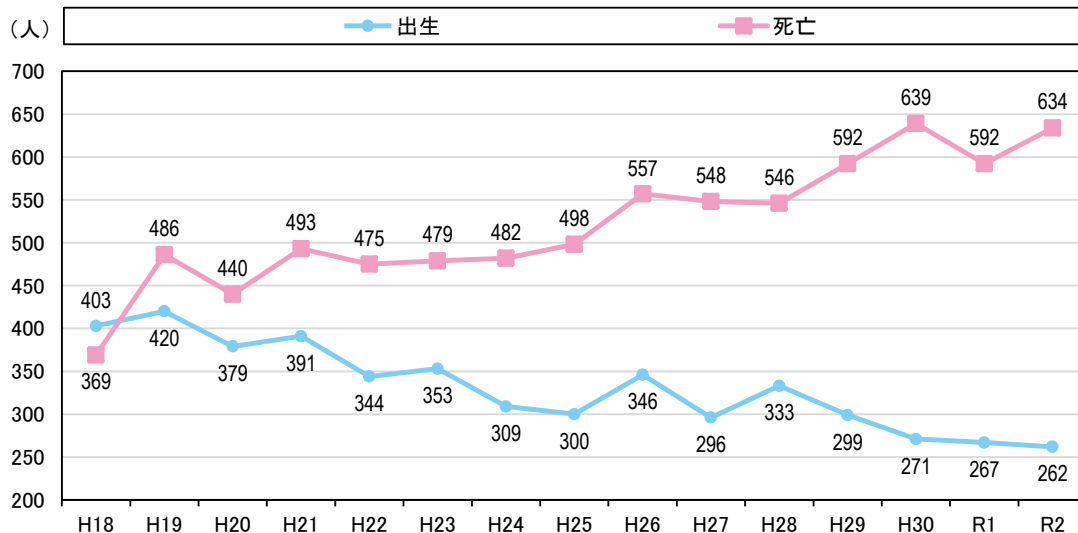
市内に居住する外国人は、増加傾向となっており、令和2年度時点で408人となっています。



資料：住民基本台帳（各年度末）

③自然動態(出生・死亡)

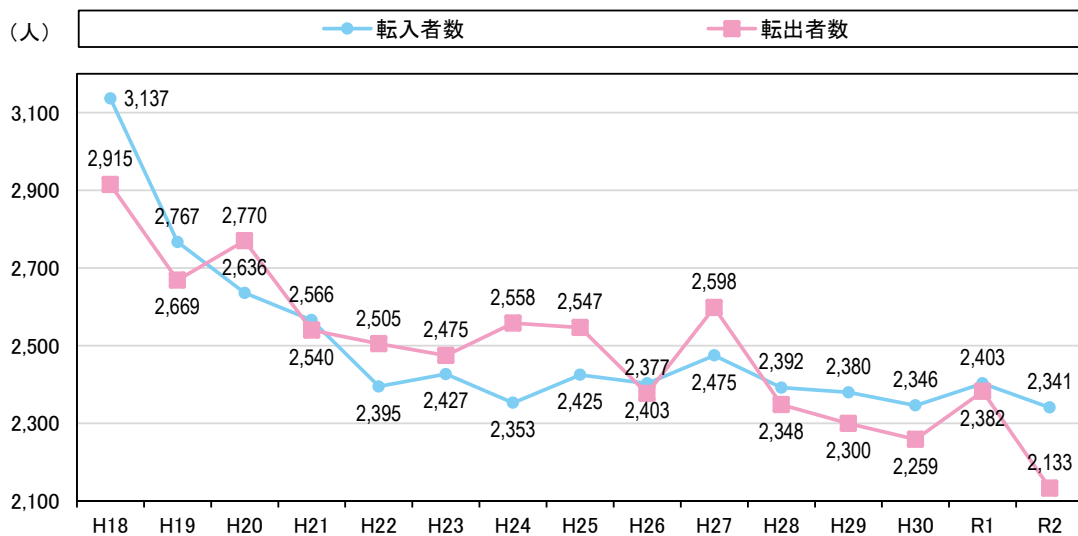
自然動態は、平成19年度以降は死亡が出生を上回る自然減が続き、令和2年度時点で372人の自然減となっています。



資料:住民基本台帳(各年度計)

④社会動態(転入・転出)

社会動態は、平成28年度以降は転入が転出を上回る社会増となっており、令和2年度時点で208人の社会増となっています。



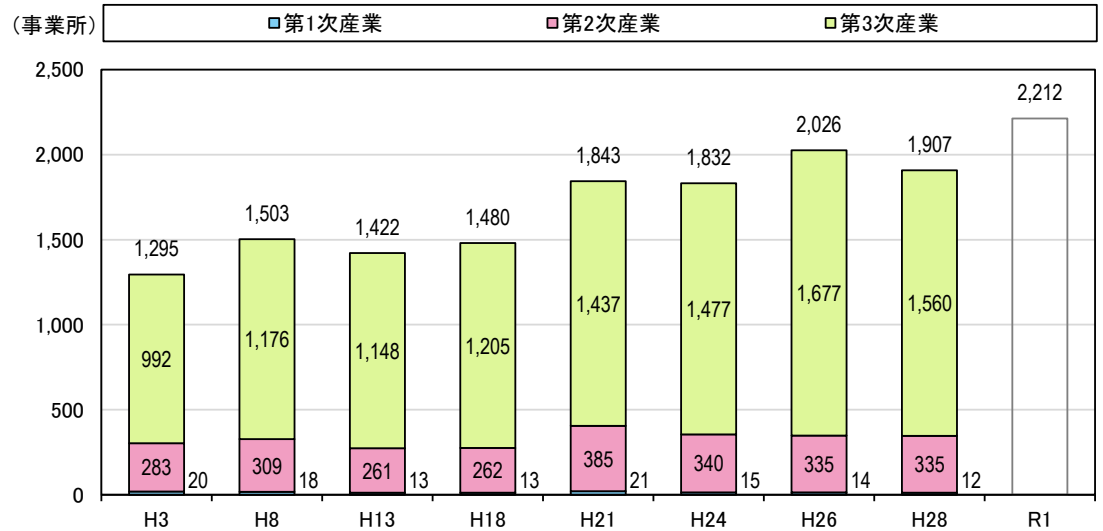
資料:住民基本台帳(各年度計)

(2) 全産業

① 事業所数

事業所数は、平成28年時点で減少しましたが、令和元年に増加し、2,212事業所となっています。

産業別にみると、第3次産業が最も多く、次いで第2次産業、第1次産業となっています。

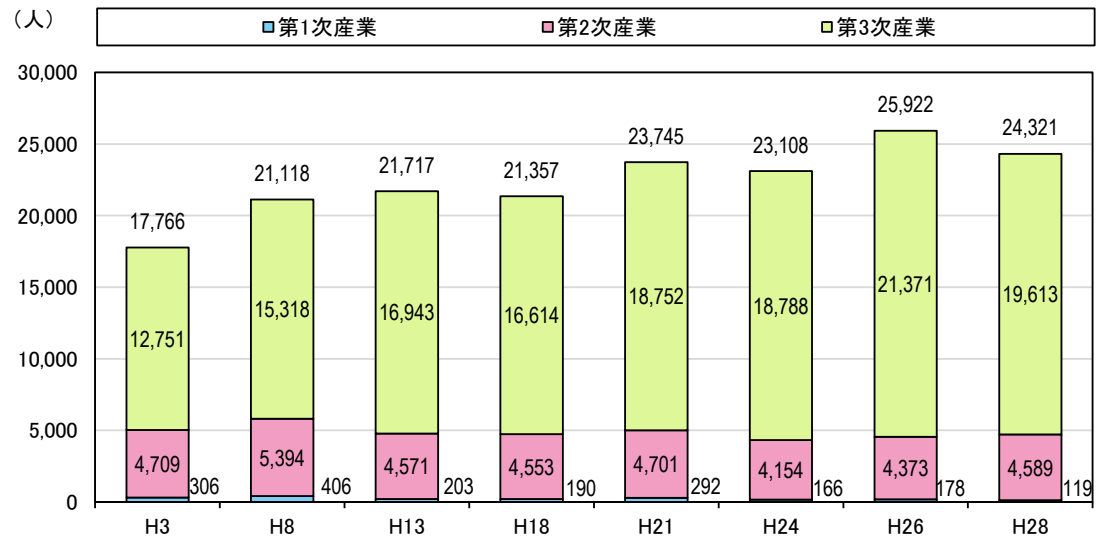


資料：事業所・企業統計調査（H3～H18）、経済センサス（H21～R1）

② 従業者数

従業者数は、平成26年が最も多くなっていますが、平成28年時点で減少し、24,321人となっています。

産業別にみると、第3次産業が最も多く、次いで第2次産業、第1次産業となっています。

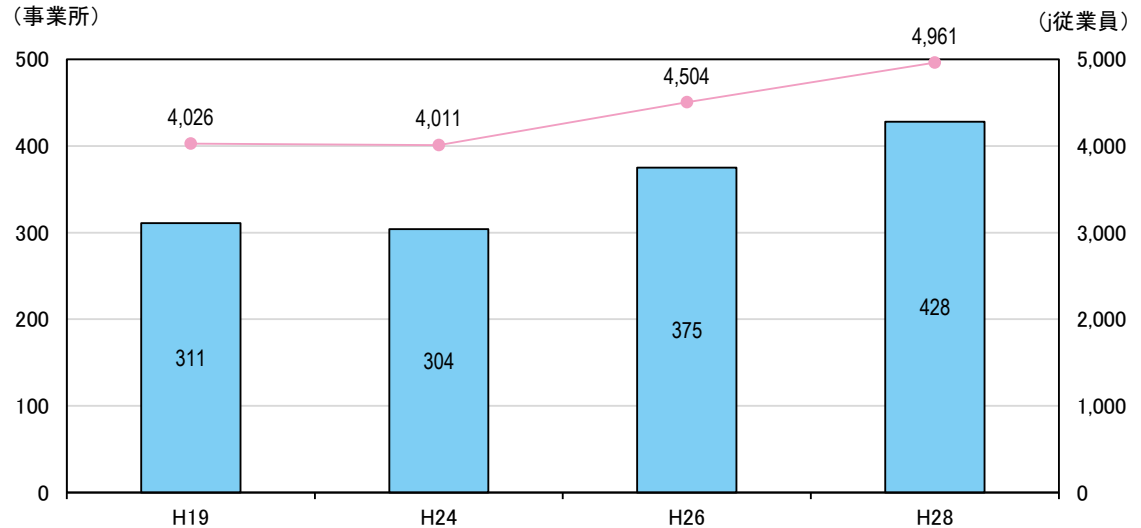


資料：事業所・企業統計調査（H3～H18）、経済センサス（H21～H28）

① 商業事業所数・従業者数

商業事業所数は、平成16年以降増加傾向となっており、平成28年時点で428事業所となっています。

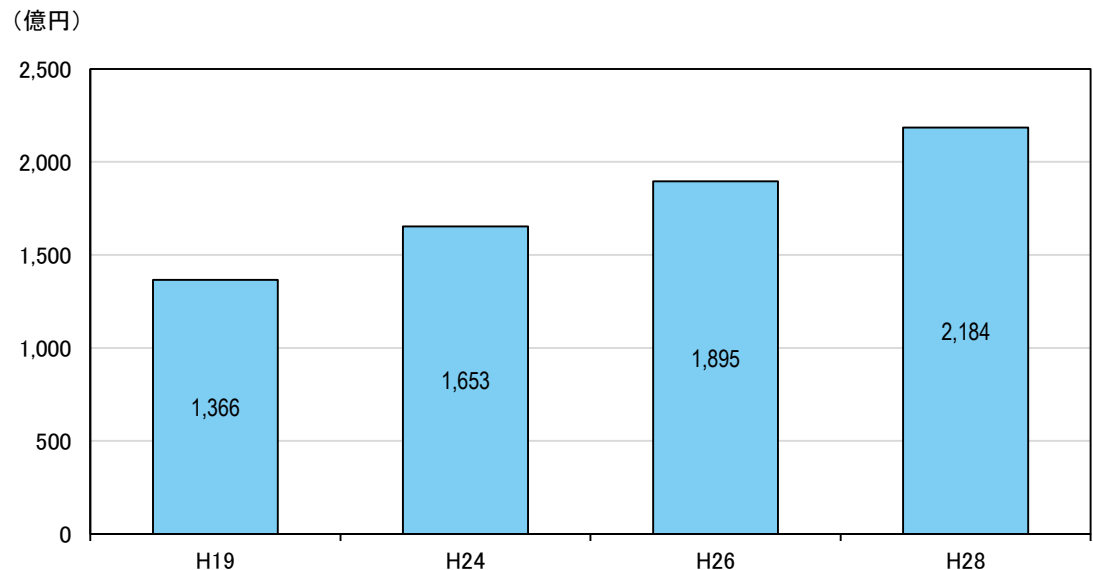
商業従業者数は、平成14年以降増加傾向となっており、平成28年時点で4,961人となっています。



資料：商業統計調査(H19、H26)、経済センサス(H24、H28)

② 商業販売額

商業販売額は、平成19年以降増加傾向となっており、平成28年時点で2,184億円となっています。

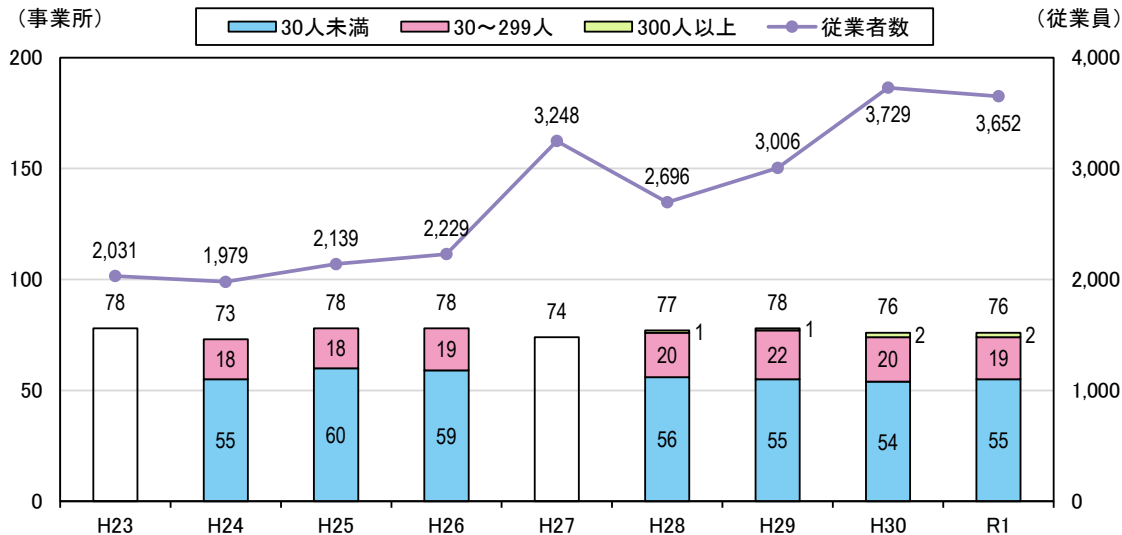


資料：商業統計(H19、H26の年間商品販売額)、経済センサス(H24、H28の売上(収入)金額)

① 工業事業所数・従業者数

事業所数は、70件台で横ばいとなっており、令和元年時点で76事業所となっています。

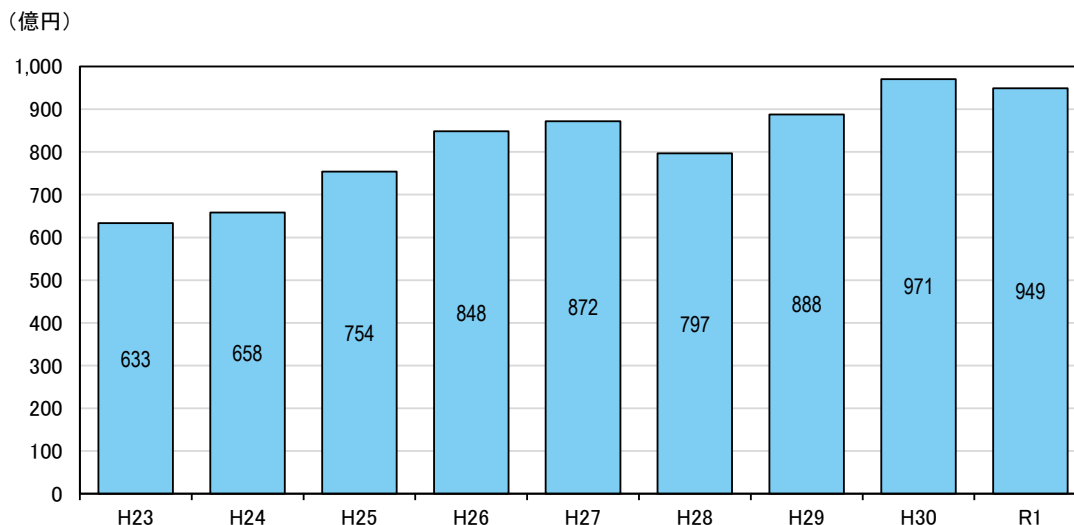
従業者数は、平成28年に減少に転じた以降、増加傾向となっており、令和元年時点で3,652人となっています。



資料：工業統計調査

② 製品出荷額

製品出荷額は、平成28年に減少に転じた以降は増加傾向となっており、令和元年時点で949億円となっています。



資料：工業統計調査

③工業団地立地状況

北広島市内には、6つの工業団地が立地し、輪厚工業団地を除き全ての工業団地が分譲済みとなっています。

広島工業団地	
所在地	北広島市共栄
宅地面積	45.8ha(分譲率:100%)
立地企業件数	16件
主な業種	鉄工、金属加工、機械器具製造業など

広島第2工業団地	
所在地	北広島市共栄・北の里
分譲面積	42.7ha(分譲率:100%)
立地企業件数	43件
主な業種	物流、農業用薬剤、医薬品、食品製造業など

大曲工業団地	
所在地	北広島市大曲工業団地1~4丁目
分譲面積	67.0ha(分譲率:100%)
立地企業件数	86件
主な業種	食料品、金属製品製造業、自動車整備工場など

大曲新工業団地	
所在地	北広島市大曲工業団地5~6丁目
分譲面積	23.8ha(分譲率100%)
立地企業件数	34件
主な業種	建設、運輸、卸売業など

大曲第3工業団地	
所在地	北広島市大曲工業団地6~8丁目
分譲面積	29.0ha(分譲率:100%)
立地企業件数	23件
主な業種	印刷、運輸、卸売業など

北広島輪厚工業団地	
所在地	北広島市輪厚工業団地1~2丁目
分譲面積	38.8ha(分譲率:98.2%)
立地企業件数	15件
主な業種	物流、医薬品、食料品製造業など

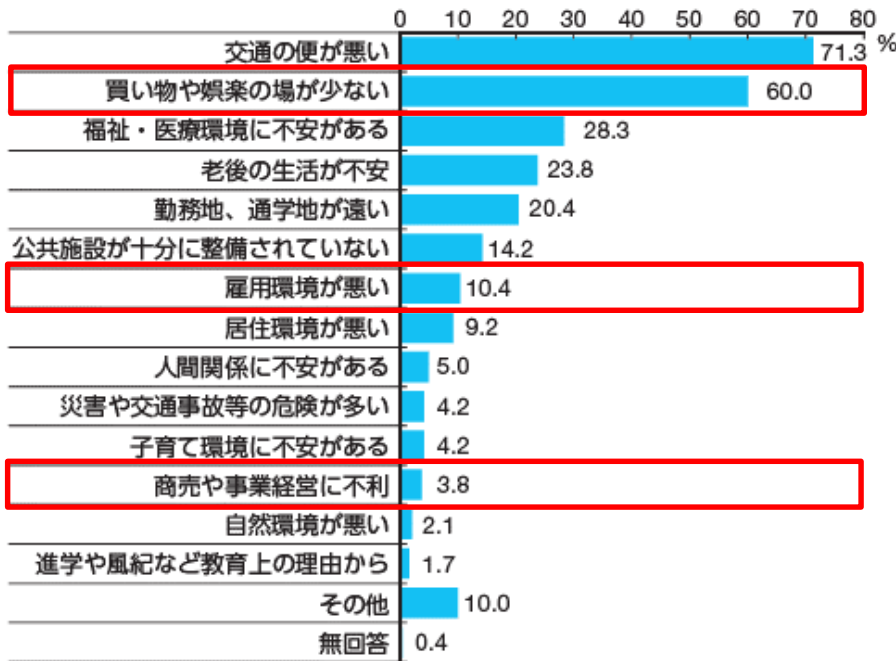


(5) 市民意識調査

平成30年(2018年)3月に実施した市民意識調査では、商工業に関する北広島市に住みにくい理由をみると、「買い物や娯楽の場が少ない」「雇用環境が悪い」「商売や事業経営に不利」の項目が挙げられています。

また、産業・雇用分野における施策の満足度・重要度では、「安定した雇用の場の確保」「日常の買い物環境の充実」「品揃えの豊富な小売店の充実」について、満足度が低く重要度が高い項目となっており、特に取組の必要性が高い項目として挙げられています。

<住みにくい理由> (複数回答3つまで)



分野	項目
生活環境	除雪や排雪の充実
	利便性の高い公共交通の充実
	災害に強い安全なまちの形成
	街路灯など防犯設備・体制の充実
保健・医療・福祉	医療環境の充実
	緊急時の救急医療体制の充実
	高齢者が安心して暮らせる社会の形成
	障がい者が地域で自立した生活ができる社会の形成
	子育てと仕事が両立可能な社会環境の充実
産業・雇用	安定した雇用の場の確保
	日常の買い物環境の充実
	品揃えの豊富な小売店の充実
教育・文化・スポーツ	豊かな学校生活を支える施設・設備の充実
市民参加・交流	市民の意見の収集と市政への反映

3. 事業者アンケート調査

1) 調査目的

北広島市に所在する商工業者の実態把握並びに、市の商工業振興施策に対する評価やニーズ等を把握する。

2) 調査対象／配布数

市内に事業所等がある800事業者程度を抽出

3) 調査方法

郵送配布、郵送回収

4) 調査期間

令和3年11月下旬～12月中旬予定

1) 事業者属性

事業者の基本的な属性について把握します。

【設問案】

業種/資本金/創業年/代表者年齢/従業者数/本社・本店所在地/
所在地区/遊休所有地の有無・所有地の概要

2) 経営状況

経営状況、経営の課題などを把握し、経営基盤強化に向けた取組の方向性を検討します。

【設問案】

直近の売上高状況/昨年度との売上比較/売上の主な要因/経営課題

3) 人材育成・確保

人材育成・確保に向けた状況や課題を把握し、取組の方向性を検討します。

【設問案】

- 人材育成

 - 取組状況/必要な取組

- 人員確保

 - 人員状況/増員したい人材/外国人雇用状況・雇用意向/雇用の課題/
必要な取組

4) 今後の事業展開

今後の事業展開などを把握し、新たな事業創出に向けた取組の方向性を検討します。

【設問案】

- 今後の事業意向/設備投資意向/移転・増築意向
- 事業承継予定/事業後継者候補の属性/事業承継の課題/必要な取組
- ボールパークや北広島西口再開発に向けた取組

5) 北広島市の商工業振興施策

北広島市の商工業振興施策に係る評価、支援施策のニーズを把握し、今後の施策の方向性を検討します。

【設問案】

商工業振興施策に対する評価、商工業全般について希望する支援

4. 今後のスケジュール

4. 今後のスケジュール

令和3年度	11	12	1	2	3
現状・課題 方向性の整理					
事業者 アンケート調査					
審議会					

令和4年度	R4.4~6	7~9	10~12	R5.1~3	4
計画案の検討					
答申					
パブリック コメント					
審議会					